

# 暮らしやすい 地域づくりへ



町内会は、清掃活動や情報共有、防災・防犯、ふれあいの場づくりなど、私たちの暮らしを支える大切な存在です。



## 名寄市の町内会の現状

名寄市には現在71の町内会があり、加入率は令和7年度時点で68・47%となっています。町内会の世帯数を見ると、最小で10世帯以下、最大で300世帯超えと、その規模はさまざまです。

近年の少子高齢化やライフスタイルの多様化などを理由に加入率の低下や役員の担い手不足などが課題となっています。

一方、災害時の安否確認、高齢者の見回りや地域防犯などの機能は行政だけでは限界があり地域コミュニティの力が必要不可欠です。

つながりが  
まちをつくる  
未来をつくる

# 町内会の役割とは？

名寄市の町内会では、地域に住む人たちが協力し合い、安心して快適に暮らせるまちをつくるために、さまざまな活動を行っています。

## 1 きれいな環境づくり



地域での清掃活動やごみの減量に向けた取り組みなど、清潔で快適なまちづくりのための活動を行っています。

## 2 市などからの情報の回覧



広報の配布のほか、市やその他行政機関からのお知らせ、催しの情報などの回覧・掲示を行っています。

暮らしやすい  
地域づくりは  
町内会の力から

## 4 安全・安心の地域づくり



災害に備えた防災訓練や、犯罪を起こさせないための防犯パトロールなど、地域の安全・安心のための活動を行っています。

## 3 ふれあい活動



地域のお祭りや親睦会、子ども会、敬老会など、住民同士のつながりや交流を深める場を作っています。

## 数字で見る名寄市の町内会

町内会数

**71** 町内会

加入世帯の割合

**68.47** %  
(令和7年5月時点)

名寄市の人口 (令和8年4月時点)

- ・全体人口 23,929人
- ・65歳以上人口 8,338人 (約35%)
- ・全体世帯数 13,464戸

# 地域で支え合い、 楽しみながら続ける町内会活動

子どもから高齢者まで、世代を超えてつながる地域の輪

## 14区町内会 座談会



司：司 会 14区町内会の皆さん(右から) 事：事務局長 宮越さん  
市：市役所 安澤さん 会：会長 田中さん 子：子供育成部 小笠原さん  
女：女性部 川崎さん 在住外国人 イムソンさん

### ▼町内会活動について

**司** 現在の町内会の活動状況について教えてください。

**会** 現在、町内会は9つの部で活動しています。主な活動は、公園の草取り、夏祭り、子供育成会の廃品回収、名寄祭りでの子ども神輿、健康教室、ポッチャなどです。

特に夏祭りは、子どもから高齢者まで毎年100人ほどが参加する大きな行事です。

### ▼活動を続けられる理由

**司** 役員や会員の皆さんが前向きに活動できる秘訣はありますか。

**子** 子どもたちが楽しいと親としてもうれしいのだと思います。町内会の行事に参加すると、子ども同士だけでなく、地域のお兄さんやお姉さんとも知り合えます。小学校に上がった時に登校時などで知っている子がいるのは、親としても安心です。そういうつながりがあるから、保護者も協力してくれるのだと思います。

### ▼近隣町内会との連携

**市** 子どもが少なく、活動が難しくなっている中、どのように工夫をされていますか。

**子** 隣の町内会の育成部と一緒にすることもあります。子どもが少なく、町内会だけでは難しい場合、近隣の町内会と連携して活動する方法もあると思います。

**会** 実際に、餅つき大会や花火大会は他の町内会と合同で行っています。

### ▼参加しやすい町内会に

**司** 参加を呼びかけるために工夫されていることはありますか。

**子** 育成部ではLINEを使っています。回覧板に加えてLINEでも案内しています。

**司** 仕事をしている方でも参加しやすいようにしていることはありますか。

**子** 育成部の活動は、神輿など一部を除いて土日を中心に行っています。

### ▼参加入促進への工夫

**司** 新しく転入してきた方には、どのように声をかけていますか。

**女** 副会長が回ってくれています。

**会** 新しく家が建った場合は、個別に訪問していることもあります。

**子** この春、初めてチラシを

作って、子どもがいそうな家庭に配りました。年間の活動内容やLINE登録の案内、町内会加入の呼びかけを載せました。その結果、これまで来ていなかった家庭が廃品回収に参加してくれるなど、少し反応がありました。

### ▼現在の課題とこれから

**司** 現状の課題としては、担い手が固定化しているということでしょうか。

**事** そうですね。役員の担い手のことは考えていかなければなりません。

**司** 昔と比べて、最近変わってきたと感じることはありますか。

**事** 高齢者が増えてきていることです。85歳を過ぎても参加してくださる方はいますが、歩くのが大変になり、参加したくてもできない方も増えてきています。転居される方も多く、そこから人数を増やすのは難しい面があります。

**司** 今後、町内会としてどのような方向性で進んでいきたいですか。

**会** 各部の活動や人のことを考えながら、今まで継続してきたことを大切に、皆さんに喜んでもらえる町内会をつくっていききたいです。

**女** まずは、自分たちが楽しいと思うことを一度やってみることだと思います。やってみて、うまくいかなければ別の形に変えればいい。続けるかどうかは別として、まず試してみることが大切だと思います。

**会** 町内会に入っていないだけ、回覧板を見てもらいたいです。こんな活動をしているというのを知っていただき、多くの人に参加してもらえたらうれしいです。

**司** 町内会に入っていない方に伝えたいことはありますか。

**女** 年齢が高くなったり、一人暮らしになったりした時には、町内会に入っていた方が何かと安心だと思えます。周りの方が気にかけてくれることで、万が一の時にも備えられます。町内会に入ること、地域とのつながりが持てます。そこは強く感じています。

### ネパールの皆さんとの地域交流

地域に暮らすネパール出身の皆さんも、夏祭りや新年会、ポッチャ、モルックなどに参加しています。女性部では、ネパール料理を教えてもらう料理教室も実施。文化の違いを知る交流の場となりました。夏祭りでは、日本の玉入れに初めて挑戦。「日本にいる間に、少しでも楽しい思い出をつくってもらえたら」と、町内会では無理のない形で交流を続けています。



## 地域と学校がつながる取組

# 名寄西小安心会議 東地区連絡協議会 の取組紹介

名寄西小安心会議、東地区連絡協議会では、学校・子ども・地域が一緒になって、子どもたちの安全や地域のつながりを深めるさまざまな活動を行っています。

### 名寄西小安心会議の取組

#### プランター整備



西小学校の1・2年生と地域の人たちが一緒に、学校前に飾るプランターを整備します。

#### スノーランタン



地域の大人が雪のブロックを作り、子どもたちがランタンを並べます。夜には花火も打ち上げ、子どもや保護者、地域の人たちが集まる行事になっています。

### 東地区連絡協議会の取組

#### もちつき大会



複数の町内会が連携し、毎年開催。大福やお雑煮づくりを通じて、名寄市のもち米について知ってもらい、子どもから高齢者まで交流できる場となっています。

### 子どもたちの安心を地域で支える 西小安心会議の取り組み

西小安心会議は、平成16年に始まりました。当時、小学生を対象にした不審者事案などが相次ぎ、子どもたちの安全を地域でどう守るかが課題となっていました。

最初の大きな取り組みは「SOSの家」のステッカーづくりです。子どもたちが危険を感じた時に逃げ込める場所を地域に増やし、安心して登下校できる環境をつくるのが目的でした。

現在の主な活動は、春のプランター整備と、冬のスノーランタン・花火です。スノーランタン作りには児童が約70人参加し、保護者も一緒に集まるため、花火の時間には300人ほどになることもあります。

一方で、学校から遠い町内会は参加しにくく、実際に協力してくれるのは半分ほどです。それぞれの町内会でも役員のなり手が少なくなっており、自分の町内会の活動だけで精一杯という状況もあります。

課題の一つは、事務局体制です。活動を続けるには、行事当日の協力だけでなく、事務や会計、連絡調整を担える仕組みが必要です。必要な部分には一定の対価を払うことも含め、継続できる体制づくりを考える時期に来ていると感じています。

地域の人が学校のこと、子どもたちのことを少しでも知り、できる範囲で関わっていくことが、これからの地域づくりにつながると感じています。

## 地域連携事業補助金

名寄市では、町内会がほかの町内会や団体などと連携した「町内会活動の活性化を図るための事業」に要する経費の一部に対して補助金を交付します。

詳細情報は [こちら](#) ➔



## 町内会活動に参加しましょう！

町内会に参加するには？

お住いの地域の町内会に連絡するか、右の二次元コードから **積極的な参加が** 申し込みができます。 **地域の力になります！**

